

第9回 樟蔭ファッションセミナー

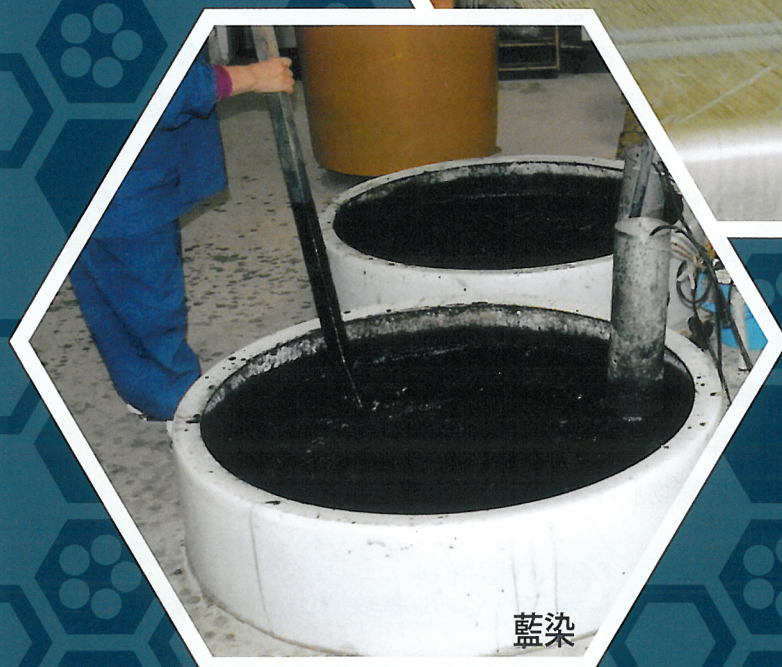
現代日本における伝統染織工芸の現状

富山 弘基

『月刊染織α(アルファ)』元編集長
日本染織文化協会副会長
京都伝統染織学芸舎主宰



紬織機



藍染



京鹿子絞り

平成20年 10月18日(土)

14:00~16:00(会場13:30)

大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス(円形ホール)

大阪樟蔭女子大学

URL <http://www.osaka-shoin.ac.jp>

■申込み・問合せ先

被服学科・樟蔭ファッションセミナー事務局

Tel/Fax 06-6723-8227

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

お申込みは電話・FAXまたはメール(fashionseminar@osaka-shoin.ac.jp)で、10月16日(木)までにお願いします。

平成20年度 大阪樟蔭女子大学 公開講座

第9回 樟蔭ファッションセミナー

主管：大阪樟蔭女子大学 学芸学部 被服学科

日本で唯一の、服飾から化粧、ヘアスタイルまで、ファッション、装うことの全体を学べる大阪樟蔭女子大学被服学科では、2006年秋より3ヶ月ごとに樟蔭ファッションセミナーを開催し、ファッションにかかわるビビッドな話題を最前線で活躍されている方々にお話しいただいています。

ファッションを創る楽しみ、デザインし科学して創る楽しみ、あるいはメイクやヘアスタイルで変身するおもしろさを味わうだけでなく、ときには知的な好奇心をくすぐる最先端の情報に接触することでファッションに対する多様な見方、考え方を学んでいただけたら幸いです。

ファッションに知的で美的なセンスが要求される時代です。ふるってご参加下さい。

現代日本における伝統染織工芸の現状

■講師と講演内容

富山 弘基(とみやま ひろき) 京都伝統染織学芸舎主宰

【講演内容】約2千年の歴史的な背景を持つ日本の伝統的な染織工芸は、近年その生産性〈需要と供給〉が著しく低下、かつて考えられなかった存亡の危機が懸念される厳しい状況にある。

そうした現状でありながら、世界的な視点に立って国内を俯瞰してみると、洋の東西を問わず染織の宝庫だったインド・中国・東南アジア・中近東地方の諸国と比較しても、現代の生活環境の中では日本ほど多種多様な染織工芸を継承している国は、世界でも群を抜いた存在である。

先進的な工業国家が、その一方で手技の匠が腕をふるう見事な染織工芸が、生産の低下する不況を背にふんばる姿には、日本の特異な感性があるように思われる。その文化性の源流はどこから来たものか、伝統染織工芸の再生振興を願って解説したいと思う。

【講師紹介】現在は、財団法人 手織技術振興財団顧問、日本紬織物文化協会専務理事、日本染織文化協会副会長 財団法人京染会相談役、日本きもの学会常任理事、京都伝統染織学芸社主宰を兼任され、

(株)染織と生活社代表取締役、『季刊染織と生活』、『月刊染織α』編集長を歴任。

著書に、『京の友禅史』『20世紀西陣織物総覧』『日本の伝統織物』『沖縄の伝統染織』など多数。

大阪樟蔭女子大学 学芸学部 被服学科

アパレル専攻・化粧文化専攻

■申込み先・申込み方法

電話・FAX・E-mailにて10月6日(木)までにお願いします。

電話・FAX：06-6723-8227

E-mail：fashionseminar@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭ファッションセミナー事務局

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学・被服学科内

小阪キャンパスへのアクセス

●大阪方面から／[JR環状線]大阪駅⇒鶴橋駅[近鉄奈良線]⇒河内小阪駅(30分)
近鉄奈良線・河内小阪駅下車西へ 徒歩3分

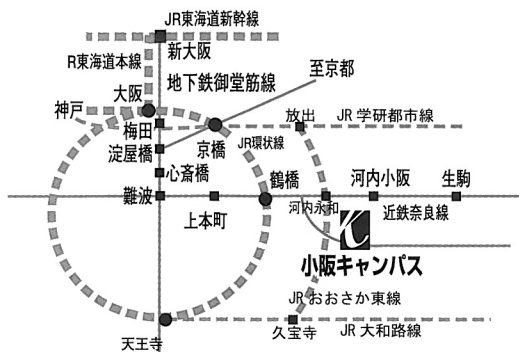
●お車での来校はできません。ご遠慮ください。

●JRおおさか東線 3月15日から営業開始

JR河内永和駅下車、東へ5分。ますます便利になります。



メールアドレス



KOSAKA
Campus

URL <http://www.osaka-shoin.ac.jp>

TEL 06-6723-8181(代表)